

**製品名: CD68 マウスモノクローナル抗体**

**カタログ番号: AMM84990**

研究使用のみ

## 概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC, ICC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.5% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	IHC 1:50-1:100, ICC 1:50-1:200
分子量	/

## 抗原情報

遺伝子名	CD68
別名	CD68; Macrosialin; Gp110; CD68
遺伝子 ID	968.0
SwissProt ID	P34810
免疫原	CD68 の合成ペプチド

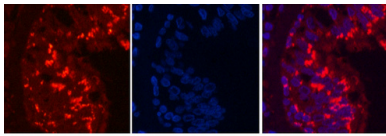
## 背景

CD68 は、酸性で高度にグリコシル化されたリソソーム糖タンパク質 (LGP) ファミリーに属し、Lamp-1 および Lamp-2 を含みま

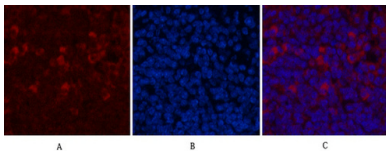
す。組織マクロファージの貪食活性において、細胞内リソソーム代謝と細胞外細胞間および細胞と病原体との相互作用の両方において役割を果たします。

## 研究分野

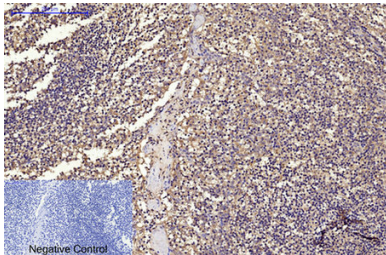
## 画像データ



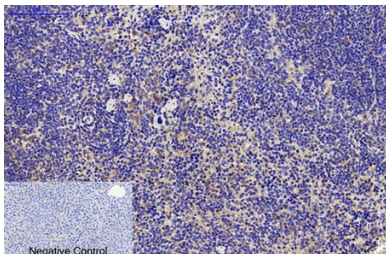
CD68 抗体 (赤) と DAPI (青) を使用したヒト肺癌組織中の CD68 の免疫蛍光分析。



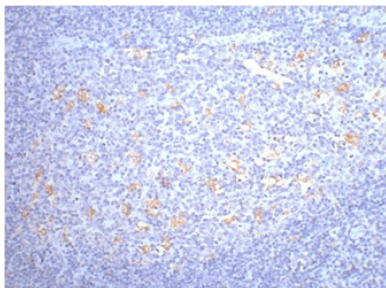
CD68 抗体(6F3)(赤)および DAPI(青)を使用したマウス脾臓組織中の CD68 の免疫蛍光分析。



CD68 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。ネガティブコントロールは二次抗体のみを使用しました。



CD68 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。ネガティブコントロールは二次抗体のみを使用しました。



CD68 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。